

一般質問発言通告書

議席番号 2 番 氏名 今田 実延

答弁を求める者

(○をつける)

市長

教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

- 1 島根あさひ社会復帰促進センター第1期事業の成果と当センターを活かした今後の地域振興について

島根あさひ社会復帰促進センターについて、平成20年10月から開所し、令和8年3月末で第1期事業が終了し、同年4月より第2期事業がスタートしている。島根あさひ社会復帰促進センターは全国でも4例しかない官民共同運営の施設で、単なる刑事施設ではなく、地域・国・民間が連携した「島根あさひモデル」として設置された施設である。第1期事業の成果や浜田市にもたらした効果について検証するとともに、PFI事業から公共サービス改革法に基づく事業へ移行した今、浜田市は当施設を今後の地域振興にどのように位置付けていくのか伺う。

(1) 人口・定住への効果について

- ① センターの設置・運営を直接的な要因として、浜田市に転入した職員・関係者の人数、世帯数、子どもの人数をどの程度把握しているのか伺う。
- ② 旭地域の人口維持や地域コミュニティへの効果を、市はどのように評価しているのか伺う。

(2) 雇用・地域経済への効果について

- ① 第1期事業によって、市内雇用がどの程度生まれ、市内事業者への発注や消費など、地域経済にどの程度の効果があったかについて伺う。

(3) 農業振興及び産業振興への効果について

- ① 農地の利用、農業者への経済効果、農業技術の継承など、本市の農業振興にどのような効果があったと評価しているのか伺う。
- ② 刑務作業を通じて、本市の産業振興にどのような効果があったと評価しているのかを伺う。

(4) 地域との共生について

- ① 石州和紙、神楽面、石見焼など、本市の地域資源を活用した取組が行われてきたが、こうした活動が地域文化の継承や地域住民との交流にどのような効果をもたらしたと考えているか伺う。
- ② パピープログラム、文通プログラム、ホースプログラム、彼岸花の植樹等の各プログラムが本市に与えた効果について伺う。

(5) 出所者の就労・住居確保と浜田市への定着について

- ① 出所者の就労や住居確保は、浜田市の人口減少・人手不足・農業担い手不足解消に大きく貢献できると考えるが、市の認識を伺う。

(6) 再犯防止に向けた地域との連携について

- ① 当センターは、全国においても先進的な取組を実施している施設であり、浜田市としても「人材の再生のまち」として位置付ける必要があると考えるが、市の認識を伺う。
- ② 第2期事業において、当センターを今後の地域振興にどう発展させるか市の認識を伺う。

2 浜田市防災行政無線の更新について

令和8年8月7日より変更された防災行政無線について、防災行政無線は災害時に市民一人ひとりへ必要な情報を確実に届けるツールであるとともに、市民にとっては時間の把握や一日の始まりの合図として生活の一部となっており、今回の更新による内容変更への反響は大きいものとなっている。

(1) 防災行政無線更新後の効果検証について

- ① 次期防災情報システム整備によって、旧システムと比較した改善点について伺う。
- ② 音声の「聞こえる・聞こえない」だけでなく、「内容まで正確に聞き取れる」状態に改善されたか伺う。
- ③ 放送時間や放送内容については、何を基準に決定されたものなのかを伺う。
- ④ 更新後の効果検証及び放送時間や放送内容の見直しの有無について伺う。